

Scene4 行く手は逃げ回る馬次第



みんなで協力

今回は2回目の参加です。馬追いは馬が逃げたり、人間の思うように上手くいかないからこそ面白いですね。地元の方々とのふれあいも楽しみのひとつ。みんなと一緒にになって馬を追い込むときがとても楽しいです。

中山間盛り上げ隊
緒方 久俊さん
来年もまた参加したいです。



まちの
話題+
アラス



ご当地グルメ準優勝!

8月24日、MRTミックで開催された市町村対抗ご当地グルメコンテストに、串間市代表で「串間活〆ぶりプリ井ぶり」が出場し準優勝しました。食べたお客様からは「身がプリプリでおいしい」と満足気な声が多く聞かれました。

まちの 話題

My
Town
Topics

題

市内の話題や出来事などを
写真を交えて紹介します。

Scene5 イフシロン都井岬で観測



成功して安心

この日を待ち望んでいました。仕事で打ち上げに携わっている息子から、都井岬を勧められて来ました。灯台からは雲がかかって発射の瞬間は見えずには残念でしたが、ものすごいごう音を肌で体感できました。無事に成功して良かったです。

9月14日、宇宙航空研究開発機関（JAXA）の新型ロケット「イフシロン」が、内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられました。発射の瞬間を都井岬で見ようと約2,000人が詰めかけ、駐車場には県外ナンバーがずらり。旧「岬の駅」都井岬前広場では発射後、雲の隙間から赤色の光跡が5秒ほど観測でき、ごう音も聞こえました。打ち上げの瞬間は会場が一つになり、拍手と歓声が上がりました。

Scene6 秋の味覚イセエビを堪能



家族で楽しむ

串間市内に住むおばあちゃんと一緒に、親子4世代で参加しました。早朝にも関わらずたくさん的人がいてビックリ。味噌汁がとってもおいしかったです。イセエビ4キロを安く購入できたので、家に帰ってからも秋の味覚を楽しみたいです。



地区対抗!市民大運動会

市制施行35周年を記念し、市民大運動会が行われ、市民約6,000人が参加。「未来へのバトンタッチ」でお年寄りから子どもまでバトンをつなぐ姿は、未来の串間への確かな手応えを感じました。~平成元年10月発行・広報くしまから~



かいっぱい! 地区対抗綱引き

9月15日、串間市漁協で「イセエビ祭り」がありました（主催：串間市漁協）。毎月第3日曜日に開催される朝市『よかむん市』（主催：串間市地場産業振興対策協議会）との同時開催で、市内外から多くの方が訪問されました。先着500名にはイセエビの味噌汁を無料配布。早朝から長蛇の列となりました。大衆甘しその素揚げの振る舞いもあり、子どもからお年寄りまで秋の味覚を堪能している様子でした。

Scene1 热戦! ビーチバレー大会



子どもと一緒に

福小バレーの母親と監督でチームを組んで出場。いつもは応援する立場ですが、今日だけは子どもたちに応援される側です（笑）。昨日から、交流のある宮崎市立大久保小学校の子たちとの合宿も行っていました。来年も楽しみにしています。

8月25日、今町浜特設会場で、第13回ビーチバレー大会inクシマ（主催：ビーチバレー大会inクシマ実行委員会）が行われ、48チーム約350名の選手たちが熱戦を繰り広げました。県内はもちろん、県外からは熊本や鹿児島の選手らが出場。各チームおそろいのユニホームで試合に臨んでいました。体育館とは異なる砂浜と潮風に苦戦しながらも、この夏最後のイベントを楽しんでいる様子でした。

Scene2 災害時の「食」を学んだ



みんなで協力

（ハイゼックス袋を見て）最初はちゃんと炊けるのかなと疑問でした。おいしく炊けて良かったです。今まで、私たちだけでは使えません。みんなで助け合って協力して作れたことが良かったです。学んだことを災害時に活かしたいです。

9月8日、北方中学校で「防災炊き出し訓練」が実施されました。日赤奉仕団や社会福祉協議会と連携しての訓練で、約110人が参加。中庭に設置された「防災かまど」を使用して、災害時に避難所などで利用される「ハイゼックス包装食」を作りました。生徒たちはもちろん保護者の皆さんも、初めての作業に戸惑いながらも、最後には無事にご飯が炊け、みんなでおいしそうに頬張っていました。

Scene3 救急の日に救急を学ぶ



大変なお仕事

119番通報をした後に、どうやって出動して、救急車の中で何をしているのか、とても興味がありました。初めて救急車に乗れてうれしかったです。命を助けるのは大変だけど、とてもすばらしいことです。救急隊員がカッコ良かったです。

9月9日、有明小学校で、救急についての教室が行われ、3・4年生24名が参加しました。市消防士長の結城さんが「救急車は昨年1年間で761人を搬送しました。救急隊員がどのようにして大切な命を守っているのか知ってほしい」とあいさつ。けが人に対する救急処置や病院への搬送法を本番ながらに実演。救急車の中も見学し、心電図や酸素マスクを使ってさまざまな体験をしていました。